

保護者の皆さまへ

吹田市立第二中学校  
校長 田中英世

## 平成24年度 大阪府学力・学習状況調査の分析について

平素より本校教育活動にご理解、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、6月に実施いたしました大阪府学力・学習状況調査の学校分析がまとまりました。本調査は結果を客観的に分析することにより、課題を明らかにし、子どもたちに生活習慣や学習習慣を身につけさせるとともに、学校の授業規律の確立や授業改善に生かしていくことがねらいです。しかしながら、本調査は学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのことをまず踏まえつつ、今後も学校全体また小学校・中学校における連続した取組となれるよう、具体的な指導法の工夫改善を図ってまいります。

各ご家庭におかれましても、分析結果をもとに、9月下旬に返却しました、自己の学習到達状況を把握するための個人票とともに、今後の家庭学習の指針として参考にして頂きますようお願い致します。

### 1. 教科に関する調査結果の分析

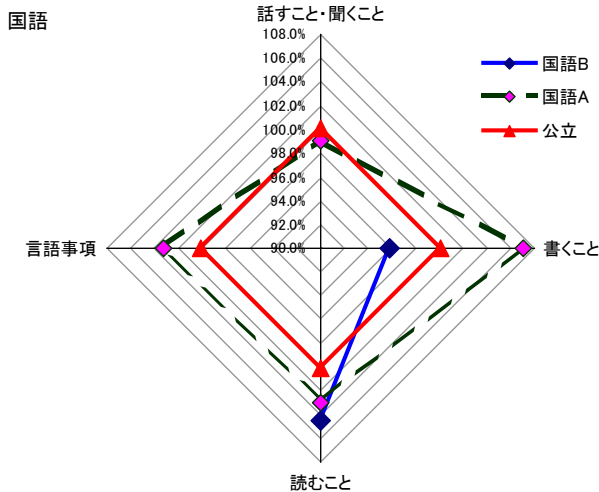
\* 基準(府平均より)±0.9%…ほぼ同じである。±1~4.9%…やや上回っている。±5%~…上回っている。

【国語】《概要》 (やや下回っている) (下回っている)

◇国語A(知識) : 全体として、大阪府の平均正答率をやや上回っている。

◆国語B(活用) : 全体として、大阪府の平均正答率をやや上回っている。

《各領域の状況と課題》\*大阪府を100とした時の本校の状況 ◇印…国語A(知識) ◆印…国語B(活用)



#### 【話すこと・聞くこと】

◇府平均正答率とほぼ同じである。「わかりやすく話す工夫を理解する」ことに若干の課題がある。

#### 【読むこと】

◇府平均正答率をやや上回り、「文脈を理解し、空欄にあてはまる語句を選択する」問題が特によくできていた。

◆選択問題や文章を抜き出す問題ではほぼ府平均正答率を上回っており、特に「表現や構成の特徴をとらえる」ことに关してよくできていた。

#### 【書くこと】

◇府平均正答率を上回り、空欄補充問題や「指定された表現に書き直す」問題もおおむねよくできていた。無解答率も府平均に比べ低い値が出ている。

◆府平均正答率をやや下回り、課題がある。特に「設問の理由を条件に従って書く」ことに課題がある。

#### 【言語事項】

◇府平均正答率をやや上回り、無解答率0の問題も少なくない。「文法を理解し正しく表現すること」に若干の課題があるが、「語句の意味を理解する」問題はおおむねよくできていた。

### ☆ 国語科における指導改善点について

【話すこと・聞くこと】…話し合い活動などで個々人の発言する機会を増やし、発表者の発言を相手の立場になって聞いたり、人前で話したりする際の留意点について考えさせる。

【読むこと】…ひとつひとつの語句や句読点、語調などに注意して文章を読むことで、古文や現代文の内容や表現の特性について理解する力を身につけさせる。

【書くこと】…文法の学習が応用できる授業を工夫する。また、課題や条件設定に合わせてわかりやすく表現する力を身につけさせる。

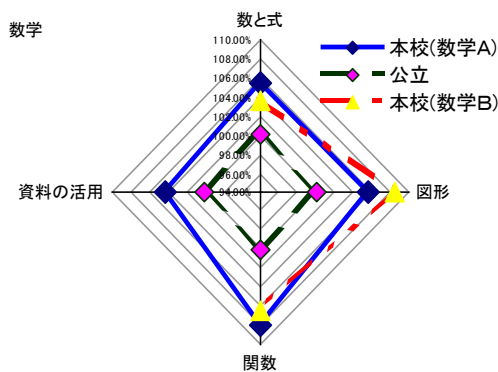
【言語事項】…辞書を用いたり、読書活動を推進したりすることで、語彙を豊かにするよう指導する。

## 【数学】《概要》

◇数学A（知識）：全体として、大阪府の平均正答率をやや上回っている。

◆数学B（活用）：全体として、大阪府の平均正答率をやや上回っている。

《各領域の状況と課題》\*大阪府を100とした時の本校の状況 ◇印…数学A（知識） ◆印…数学B（活用）



### 【数と式】

◇府平均正答率を上回っている。基本的な計算問題で高い正当率である。分数の計算で正答率が低く課題がある。

◆府平均正答率とほぼ同じである。「式による説明」の問題で府平均無解答率を上回っている。

### 【数量関係】

◇府平均正答率を上回っている。「反比例の意味」「変化の割合の求め方」について正答率が低く課題がある。

◆府平均正答率を上回っている。グラフから状況を読みとる問題で正答率が低く課題がある。

### 【図形】

◇府平均正答率を上回っている。「証明をする上で必要のない記述を選ぶ」問題で正答率が低く課題がある。

◆府平均正答率を上回っている。「正方形を回転させたとき、三角形の面積の和が最大になる角度を選ぶ」問題で正答率が低く課題がある。

## ☆ 数学科における指導改善点について

【数と式】…小数・分数の四則計算の力をつけるために、繰り返し基礎的な計算練習を取り入れる。数量の関係を文字を用いて式に表現したり、式の意味を読みとる能力を養う。

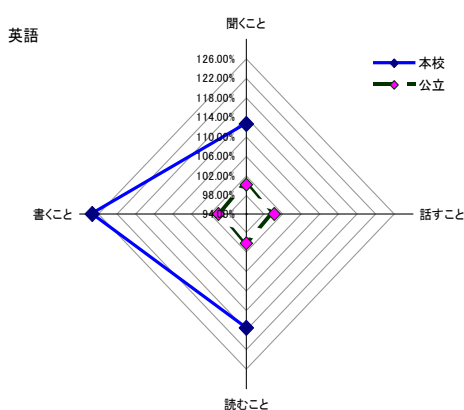
【数量関係】…「反比例の意味」「変化の割合の求め方」が定着するよう授業・週末課題で、関数の分野で反比例・変化の割合を取り上げる。「グラフから状況を読みとる力」がつくように、関数グラフの基礎を理解させる。具体的な事象をグラフを利用して予測・判断する力をつけたい。

【図形】…証明について「すでに正しいとわかっている性質を根拠に、論理を一つ一つ積み重ねていく」ことを理解させ、体得させる。図形が移動する問題について、授業で動画やICTを活用し、移動する映像を見せるなど工夫をして図形の移動をイメージする基礎をつくる。

## 【英語】《概要》

●英語：全体として、大阪府の平均正答率を上回っている。

《各領域の状況と課題》\*大阪府を100とした時の本校の状況 ※英語は「知識」「活用」の区別がありません。



### 【聞くこと】

●府平均正答率を上回っている。8つの設問があるが無解答率が0である。「二人の会話を聞き、最後の発言に対する応答文を選択する」問題の正答率をあげていきたい。

### 【読むこと】

●府平均正答率を上回っている。特に「文脈に即して空欄に単語を書く」力は高い。長文読解の力をさらにつけることが今後の課題である。

### 【書くこと】

●府平均正答率を上回っている。「与えられたテーマに対しそれを説明する英文を書く」力をさらにつけていくことが今後の課題である。

## ☆ 英語科における指導改善点について

【聞くこと】…まとまった英文を聞き、その内容に関する英語の質問に対して的確に答えられるように指導していく。

【読むこと】…短時間で長文読解問題を解けるように指導する。ひとつひとつを日本語に直さず、ポイントを逃さず、スピーディーに理解できるよう指導していく。

【書くこと】…英語で言いたいことを表現する力をつける。自分の言いたいことが浮かばない場合は別の言い方に変えて表現する練習もしていきたい。